

情報元：南海日日新聞社
日付：令和4年5月21日

森(沖永)準決勝進出

ボクシング・男子ライト級



【鹿兒島総局】2022年度鹿兒島県高校総合
体育大会(県高校体育連盟主催)は20日、鹿兒島
市の県補助体育館でボクシングがあった。奄美関
係は男子ライト級に1年生3選手が出場。森香奈
太(沖永良部)が21日の準決勝に勝ち進んだ。21
日はボクシングのほか、ラケット、テニスもある。

ボクシング

(県補助体育館)
【男子】(ライト級)▽
1回戦 森香奈太(沖永良部) 1R28秒 藤山龍(沖永良部)
2R分 宮松(鹿兒島工

業、外園(鹿兒島工業) WP5-0 福山拓己(鹿兒島城西、和泊中出身)、松下(鹿屋華) 1RSCC 1R28秒 藤山龍(沖永良部)

かつて高校チャンピオンも輩出した前・沖永良部高ボクシング部が高校総体の舞台に帰ってきた。部員がおらず休部状態だった同部の復活は、0-6年以來、6年ぶり。男子ライト級56、60キロで森香奈太(15)、藤山龍(同)の1年生二人が雄姿を現した。

かつて高校チャンピオンも輩出した前・沖永良部高ボクシング部が高校総体の舞台に帰ってきた。部員がおらず休部状態だった同部の復活は、0-6年以來、6年ぶり。男子ライト級56、60キロで森香奈太(15)、藤山龍(同)の1年生二人が雄姿を現した。

沖永良部6年ぶり復活

1年生二人が雄姿

きたOBの奮闘がある。決勝進出を決めた森は、惜しくも初戦で敗れた。藤山は「緊張で体が動かさず、練習の成果が出せなかったけど、とてもいい

経験になった。次の大会は、勝を挙げて上を目指していきたくて話した。同階級には中学時代、二人と練習を共にしていた和泊中出身の福山拓己(同) 1R鹿兒島城西1年 1Rも出場。今大会は初戦で敗れたが、「今後の目標はインターハイ優勝」と沖永良部魂を燃やしていた。



準決勝に駒を進めた沖永良部の森香奈太(左) 20日、鹿兒島市の県補助体育館